

自動車使用管理実績報告書の作成マニュアル

平成25年4月
近畿運輸局自動車交通部

自動車使用管理実績報告書作成について

1. 制度の概要

①目的

大気汚染の著しい地域である対策地域において、その防止に関して国、地方公共団体、事業者等の果たすべき責務を明らかにするとともに、自動車から排出される窒素酸化物及び粒子状物質の総量を削減するための所要の措置を講ずることなどにより、二酸化窒素及び浮遊粒子状物質に係る環境基準の確保を図っていくことを目的としています。

②対策地域

大阪府内 37市町（能勢町、豊能町、太子町、河南町、千早赤坂村、岬町を除く府下全市町）
兵庫県内 13市町（神戸市、姫路市、尼崎市、明石市、西宮市、芦屋市、伊丹市、加古川市、宝塚市、高砂市、川西市、加古郡播磨町及び揖保郡太子町）

③対象自動車

乗用自動車、貨物自動車、バス、特殊自動車をいいます。（軽自動車、特殊自動車（0、9ナンバー）及び二輪自動車を除く。）

2. 自動車使用管理実績報告書の提出等について

①概要

自動車NO_x・PM法により、同一都府県内の対策地域に使用の本拠地を有する対象自動車を、30台以上使用する事業者（以下「特定事業者」という）は、事業活動に伴い自動車から排出される窒素酸化物（NO_x）及び粒子状物質（PM）を抑制するための計画（自動車使用管理計画書）を4年ごとに作成し、国土交通大臣に提出（近畿運輸局管内は近畿運輸局に提出）することが義務付けられています。

その後、毎年度の実績（自動車使用管理実績報告書）を作成し、国土交通大臣に提出（近畿運輸局管内は近畿運輸局に提出）することが義務付けられています。

②平成24年度自動車使用管理実績報告書について

○報告対象期間

平成24年度（平成24年4月1日～平成25年3月31日）

○提出期限

平成25年6月28日まで

○提出方法

自動車使用管理実績報告書（実績表紙・実績事業場・実績排出量・代替実績・措置実績）を印刷し、1部を提出して下さい。

報告いただいたデータは、集計のうえ環境省へ報告する必要があるため、お手数ですが作成した本ファイルをCDやフロッピーディスク等にコピーして上記と併せて提出して下さい。（コピーされているか必ず確認して下さい。アイコンしか保存されていない場合が多々あります。）

○提出先

下記あてに郵送で送っていただくか、最寄りの支局の窓口へ提出して下さい。

<送り先>

〒540-8558

大阪市中央区大手前4-1-76 大阪合同庁舎第4号館

近畿運輸局 自動車交通部 ○○課（※）

※バス・・・旅客第一課あて

タクシー・・・旅客第二課あて

トラック・・・貨物課あて

<支局の窓口>

〒572-0846 寝屋川市高宮栄町12-1

大阪運輸支局輸送部門

TEL072-822-6733（バス・タクシー関係）

TEL072-822-5254（貨物関係）

〒658-0024 神戸市東灘区魚崎浜町34-2

神戸運輸監理部兵庫陸運部輸送部門

TEL078-453-1104

3. 実績報告書作成の流れ

- ①ダウンロードした作成ファイルの「はじめに」を読んで下さい。
- ②「実績表紙」に連絡先などを入力して下さい。
- ③「実績事業場」に営業所名、住所などを入力して下さい。
- ④「実績排出量」に平成24年度（H24.4.1～H25.3.31）中に使用した車両データを入力して下さい。
- ⑤「代替実績」に入力する項目はありません。全て自動表示されます。
- ⑥「実績措置」に排出ガス低減の取り組みについて該当する項目に○をつけて下さい。

近畿運輸局長 殿

7桁の数字のみ入力してください。
例 〒540-8558
↓
5408558

平成25年6月28日

提出日を記載してください。

〒 540-8558
住所 大阪市中央区谷町4丁目1番76号
フリガナ
氏名 ○○○株式会社
代表取締役 △△ △△
(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)

名称のフリガナを記載してください。

会社等の名称を記載してください。

代表者名を記載してください。

7桁の数字のみ入力してください。
例 〒540-8558
↓
5408558

自動車使用管理計画実績報告書

自動車から排出される窒素酸化物及び粒子状物質の特定地域における総量の削減等に関する特別措置法第18条に基づき、特定自動車の使用管理計画の実績を次のとおり報告します。

特定事業者の氏名又は名称	○○○株式会社 代表取締役 △△ △△		
当該府県にお 主たる事業場の 実績事業場 シートの車両台 数の合計値が 反映されます。	658-0024	神戸市東灘区魚崎浜町34-2	
使用する特定自動車の台数	20	台	
業種名	道路貨物運送業	番号	44
実績事業場シートの 従業員数が反映され ます。	75 人		
担当者氏名及び連絡先	所属・氏名	総務部総務課 青空太郎	
	電話	06-1234-5678	
	FAX	06-1234-6789	
	Eメール		

旅客の場合は
道路旅客運送業
貨物の場合は
道路貨物運送業
と記載してください。

『日本標準産業分類』により、**旅客運送業は43、貨物運送業は44**を記載してください。

作成した担当者の所属、氏名を記載してください。

担当者のE-mailアドレスを記載してください。

お問い合わせする際の連絡先を記載してください。

事業場別の特定自動車の台数

平成25年3月31日

事業場コード		1	2	3	4	5
事業場の名称		A営業所				
事業場の所在地		大阪府中央区谷町4丁目1番76号				
事業場の連絡先		06-1234-5678				
従業員数	75	75				
種類	車両総重量	合計	台数	台数	台数	台数
普通貨物自動	1.7t以下					
	1.7t超～2.5t以下					
	2.5t超～3.5t以下					
	3.5t超					
小型貨物自動	1.7t以下					
	1.7t超～2.5t以下					
	2.5t超～3.5t以下					
	3.5t超					
大型バス	1.7t以下					
	1.7t超～2.5t以下					
	2.5t超～3.5t以下					
	3.5t超	20	16	4		
マイクロバス	1.7t以下					
	1.7t超～2.5t以下					
	2.5t超～3.5t以下					
	3.5t超					
特種自動車	1.7t以下					
	1.7t超～2.5t以下					
	2.5t超～3.5t以下					
	3.5t超					
乗用自動車						
合計		20	16	4		
被牽引車		5	5	0		

営業所の名称を入力してください。

営業所の所在地を入力してください。

連絡先を入力してください。

従業員数を入力してください。

・水色の部分に入力して下さい。
 ・特定自動車を使用管理している事業所(営業所)毎に列を変えて入力して下さい。
 ・作成ファイルは30事業所まで入力できます。31事業所以上の入力の場合は、お問い合わせ下さい。
 ・被牽引車以外の台数は実績排出量シートに入力すると自動表示されます。

被牽引車をお持ちの場合は台数を直接入力してください。

○「実績排出量」シート 特定自動車NOx・PM排出量

水色・茶色の部分を入力してください。

シート上段の「NOx排出量(kg) PM排出量(kg)」について

- ・実績欄はシート下段の「車両毎の排出量」の表が入力されれば自動的に表示されます。
- ・目標欄は「自動車使用管理計画報告書」で自動計算された目標値を入力して下さい。

・この表の右に「エラーがあります。再確認してください。」と表示された場合は、入力された車両の分類番号、自動車の種別、型式、車両総重量、燃料の種類のうちいずれかに入力ミスがあると思われますので、それぞれの項目が正しく入力されているかご確認願います。

「車両毎の排出量」の表の上に「事業所コードをすべての車両に記入しないと実績事業場シートの台数が自動で計算されません。」と表示された場合には事業所コードが入力されておきませんので入力して下さい。

- ・本シートの**行の削除**を絶対しないでください。自動計算できなくなります。
- ・このシートには1000台まで入力することができます。1000台を超える場合は、A列からCL列までをコピーして下さい。

・各セルは必ず「コピー」してください。**「切り取り」**はしないでください。正しい計算ができなくなります。

①「事業場コード」

「実績事業場」シートに記入した事業所に対する「事業場コード」で入力して下さい。

②「ナンバープレート」

自動車登録番号を「使用の本拠」「分類番号」「文字」「指定番号」別に入力して下さい。

③「初度登録年月」

「平成〇〇年△月」又は「H〇〇. △」（半角）と入力して下さい。

④「自動車の種別」

ドロップダウンリスト（▼）に表示される中から選んで下さい。

ナンバープレートの分類番号	ドロップダウンリストの車種
10～19、100～199	普通貨物車
20～29、200～299	大型バス、マイクロバス
30～39、300～399	乗用車（軽乗用を除く）
40～49、400～499	小型貨物車
50～59、500～599	乗用車（軽乗用を除く）
80～89、800～899	特種車（乗用系）、特種車（それ以外）

⑤「型式」

自動車検査証の「型式」欄に記載されている記号のうち、ハイフンより前の記号をドロップダウンリスト（▼）から選んで下さい。直接入力（半角）することも可能です。

例えば「CBE-NCP51V」の場合「CBE」を選択するか若しくは入力して下さい。

（注）原動機の型式ではありません。

⑥「車両総重量」

自動車検査証の「車両総重量」欄の数値を半角数字で入力して下さい。（単位：kg）

（注）「車両重量」ではありません。

⑦「燃料」

自動車検査証の「燃料の種類」欄に記載されているものと同じ燃料をドロップダウンリストから選んで下さい。ただし、備考欄に「ハイブリッド」と記載されている場合は、ハイブリッド（燃料の種類）を選んで下さい。

⑧「後付け装置」

NOx低減装置やPM低減装置を後付けした場合のみドロップダウンリストから「あり」を選んで下さい。

・PM低減

H17 粒子状物質減少装置装着適合車のステッカーを貼っているもの
「あり（H17あり）」

粒子状物質減少装置装着適合車のステッカーを貼っているもの
「あり（H17なし）」

⑨「年間走行距離」

車両毎に平成23年度の年間走行距離を入力して下さい。23年度中に廃車等した車両や登録した車両もシートに入力して下さい。

⑩「排出係数」※自動表示

①、②、④～⑦を入力すれば自動的に該当する排出係数が表示されます。

⑪「排出量」

⑧～⑩のデータから自動的に計算して表示されます。

⑫「年度中に変更」

23年度中に廃車等した場合、この欄に「×」を入力して下さい。

23年度中に登録した場合、この欄に「○」を入力して下さい。

特定自動車NOx・PM排出量 H24年度実績

NOx排出量(kg)	合計	実績	4,405.2	1台あたり平均	実績	176.2
		目標	3907.9		目標	154.9
		達成率(%)	88.7		達成率(%)	87.9
PM排出量(kg)	合計	実績	538.9	1台あたり平均	実績	21.6
		目標	457.1		目標	18.1
		達成率(%)	84.8		達成率(%)	84.0

自動車使用管理計画で計算した数値を入力して下さい。

年度中に廃車等した車両は×を、新たに登録した車両は○を選んで下さい。

装置を後付した場合のみ入力して下さい。

車両毎の排出量

番号	事業場コード	ナンバープレート				初度登録年月	自動車の種別	型式	車両総重量(kg)	燃料種類	後付け装置		年間走行距離(km)	排出係数		排出量		年度中に変更
		使用の本拠	分類番号	文字	指定番号						NOx・PM低減	PM低減		NOx	PM	NOx(kg)	PM(kg)	
1	1	なにわ	200	あ	400	H18.03	大型バス	U	14,375	軽油			3,298	0.560	0.065	26.5	3.1	
2	1	なにわ	200	あ	421	H18.04	大型バス	U	14375	軽油			2,289	0.560	0.065	18.4	2.1	
3	1	なにわ	200	あ	420	H18.05	大型バス	U	14375	軽油			22,922	0.560	0.065	184.5	21.4	×
4	1	なにわ	200	あ	420	H18.05	大型バス	U	14375	軽油			23,811	0.560	0.065	191.7	22.2	×
5	1	なにわ	200	あ	420	H18.05	大型バス	U	14375	軽油			8,102	0.560	0.065	65.2	7.6	×
6	1	なにわ	200	あ	420	H18.05	大型バス	U	14375	軽油			8,784	0.560	0.065	70.7	8.2	×
7	1	なにわ	200	あ	426	H18.09	大型バス	U	14375	軽油			86,981	0.560	0.065	700.2	81.3	
8	1	なにわ	200	あ	426	H18.09	大型バス	U	15570	軽油			57,173	0.560	0.065	498.5	57.9	
9	2	なにわ	200	あ	516		大型バス	U	15490	軽油			4,766	0.560	0.065	41.3	4.8	
10	2	なにわ	200	あ	517		大型バス	U	14630	軽油			11,142	0.560	0.065	91.3	10.6	
11	2	なにわ	200	あ	516		大型バス	U	14630	軽油			6,939	0.560	0.065	56.8	6.6	
12	2	なにわ	200	あ	517		大型バス	U	14630	軽油			4,688	0.560	0.065	38.4	4.5	
13	2	大阪	200	あ	9848		大型バス	U	16065	軽油			10,471	0.150	0.003	25.2	0.5	×
14	1	なにわ	200	あ	523		大型バス	U	15180	軽油			9,300	0.560	0.065	79.1	9.2	
15	1	なにわ	200	あ	524		大型バス	U	15180	軽油			23,349	0.560	0.065	198.5	23.0	
16	1	なにわ	200	あ	570		大型バス	U	14365	軽油			5,335	0.560	0.065	42.9	5.0	
17	1	なにわ	200	あ	571		大型バス	U	14365	軽油			3,059	0.560	0.065	24.6	2.9	
18	1	なにわ	200	あ	580		大型バス	U	15930	軽油			5,115	0.560	0.065	45.6	5.3	
19	1	なにわ	200	あ	638		大型バス	U	14570	軽油			5,796	0.560	0.065	47.3	5.5	
20	1	なにわ	200	あ	639		大型バス	U	14570	軽油			94,035	0.560	0.065	767.3	89.1	
21	1	なにわ	200	あ	153		大型バス	KC	7995	軽油			101,880	0.460	0.065	374.7	52.9	
22	1	なにわ	200	あ	154		大型バス	KC	7995	軽油			57,594	0.460	0.065	211.8	29.9	
23	1	なにわ	200	あ	155		大型バス	KC	7995	軽油			67,635	0.460	0.065	248.7	35.1	
24	1	なにわ	200	あ	156		大型バス	KC	7995	軽油			63,487	0.460	0.065	233.5	33.0	
25	1	なにわ	200	あ	177		大型バス	KC	7995	軽油			33,254	0.460	0.065	122.3	17.3	
26																		
27																		

半角の英数で必ず、H18.03のように入力して下さい。

ナンバープレートの分類番号を先に入力しないと自動車の種別が選択できないようになっています。複数ある場合はリストの中から選んで下さい。

H17 粒子状物質減少装置装着適合車のステッカーが貼ってあるものは「あり(H17あり)」を、粒子状物質減少装置装着適合車のステッカーが貼ってあるものは「あり(H17なし)」を選んで下さい。

○「代替実績」シート 特定自動車代替実績、排出ガス低減装置装着実
全ての欄が自動で計算されます。

○「措置実績」シート

「実施事項」欄に記載した運転の実施等及び車両走行量の削減がある場合には、「実施の有無」欄のドロップダウンリストから「あり」を選んで下さい。

「実施の有無」で「あり」を選んだ場合には、「内容」欄に該当する項目に「○」をつけて下さい。

- ・「内容」欄の例示に該当する項目がない場合は、その他欄に具体的な項目を入力して

適正運転の実施等及び車両走行量の削減の実施状況

実施事項		実施の有無	実施項目	内容
車両の有効利用の促進	適正運転の実施	あり	○	エコドライブマニュアルの作成、配布 エコドライブに関する教育、訓練の実施 アイドリングストップの徹底 デジタル式運行記録計等の活用 優良ドライバーの表彰 その他()
	車両の維持管理	あり	○ ○	日常点検・整備マニュアルの作成、配布 日常点検・整備に関する教育、訓練の実施 日々の始業点検・定期点検の完全実施 エアークリーナーの定期的な点検 運転日報の作成 その他()
	共同輸配送の促進	あり	○	物資の集荷、仕分け業務の共同化(積載効率、輸送効率の向上) 配送業務の共同化(輸送距離、使用車両の削減) その他()
	帰り荷の確保			配送と集荷を1台で実施できるように工夫 その他()
	ジャスト・イン・タイムサービスの改善			時間指定配送の回数の低減を要請 その他()
	受注時間と配送時間のルール化			受注時間と配送時間の設定(ルール化) 緊急配送をできるだけ避ける(随時配送の廃止) その他()
	検品の簡略化			検品のルーチン化による時間の短縮 その他()
	道路混雑時の輸配送の見直し等			朝タラッシュ時の配送を昼間配送に振替 積載効率が低い土曜日、日曜日の車両使用の削減 その他()
	商品の標準化等			積み合わせを容易にするため商品荷姿を標準化 その他()
	モーダルシフトの推進			鉄道輸送の活用 海運の活用 その他()
公共交通機関の利用の促進	あり	○	鉄道、バス等の公共交通機関の利用 自転車、徒歩による移動 マイカー通勤の禁止 ノーマイカーデーの設定 その他()	
情報化の推進	あり	○	車載端末、パソコンによる配車システムの導入・拡大 燃費等の記録管理 VICS搭載カーナビゲーションシステム等による渋滞回避 ETCの導入 その他()	
物流施設の高度化、物流拠点の整備等			既存施設の機械化・自動化など 荷受け、仕分け業務の効率化のための物流拠点の整備 荷捌き場、駐停車場所、運転手控室などの整備 路上駐停車の自粛 その他()	
その他	あり	○	ISO14001の認証を取得 エコアクション21等の環境マネジメントシステムの認証を取得 グリーン経営認証の取得 環境報告書の作成 その他()	
上記についての特記事項(独自の取組について記載してください)				

実施している場合に該当する内容の項目に○をつけてください。その他にある場合はその他にそれを入力して下さい。